

2023年3月16日  
株式会社SVPジャパン

## SVPトレンド調査 「Z世代の消費意欲と購買行動について」 ～消費活動は保守層と積極層の二極化か～



会員企業に対して公開情報を用いたビジネス情報提供を行う、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、「Z世代の消費意欲と購買行動について」をテーマにインターネット調査を実施。一都三県（東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県）の男女1,000名が回答。その調査結果をレポートにまとめた。

### ■ 調査目的

Z世代は、何にお金を利用して、買い物の際にどんなことを重視しているのかを調査。また、Z世代とそのひとつ前の世代であるY世代（ミレニアル世代）との比較も実施。それらを通して、Z世代が持つ実際の消費に対する考え方を明らかにする。

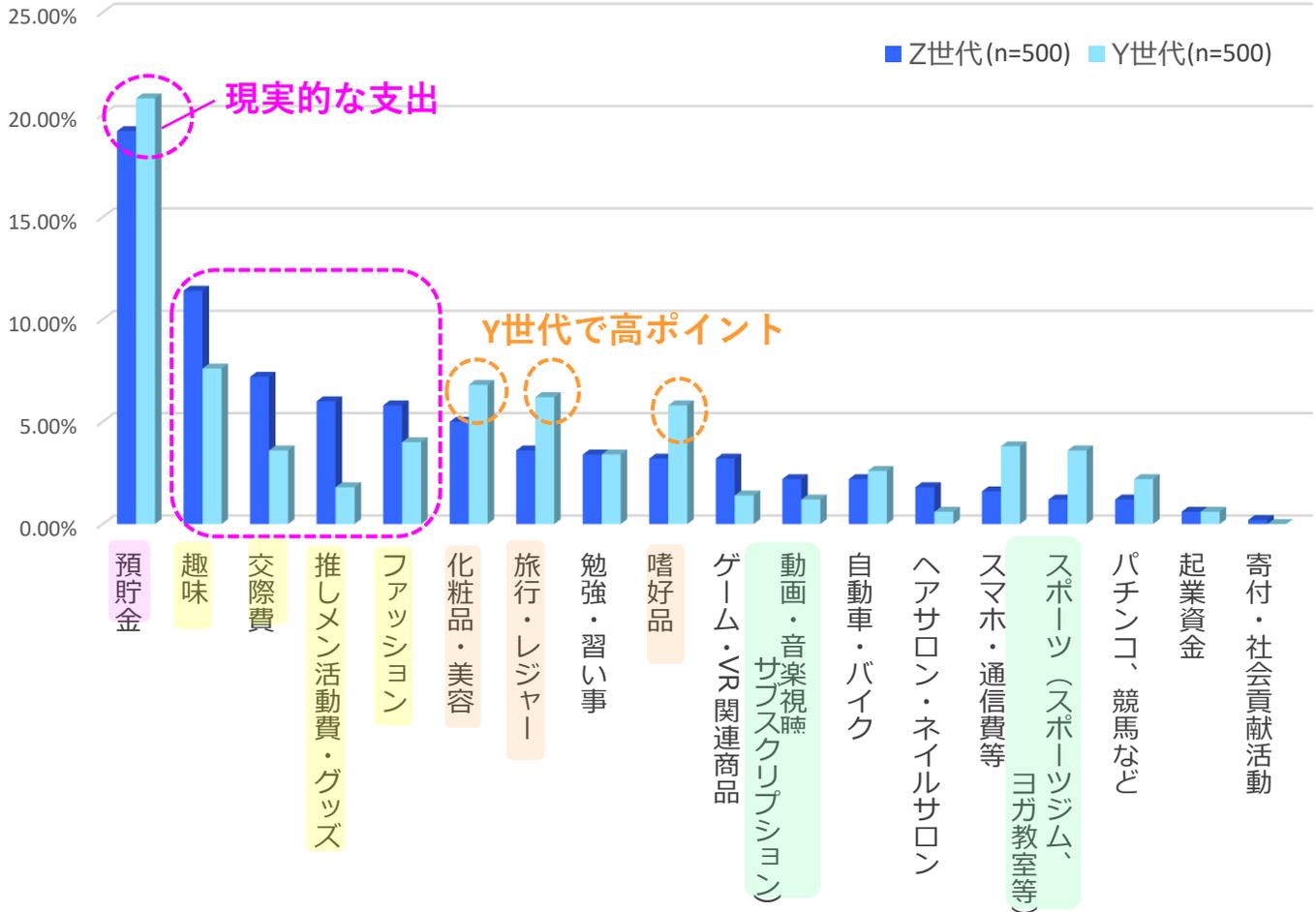
### ■ 調査概要

調査時期	2023年2月
調査方法	インターネット調査
調査対象	18歳～26歳、30歳～42歳の男女
有効回答数	18歳～26歳 男女500名、30歳～42歳 男女500名 の合計1,000名
調査機関	アイブリッジ株式会社

### ■ 本レポート構成

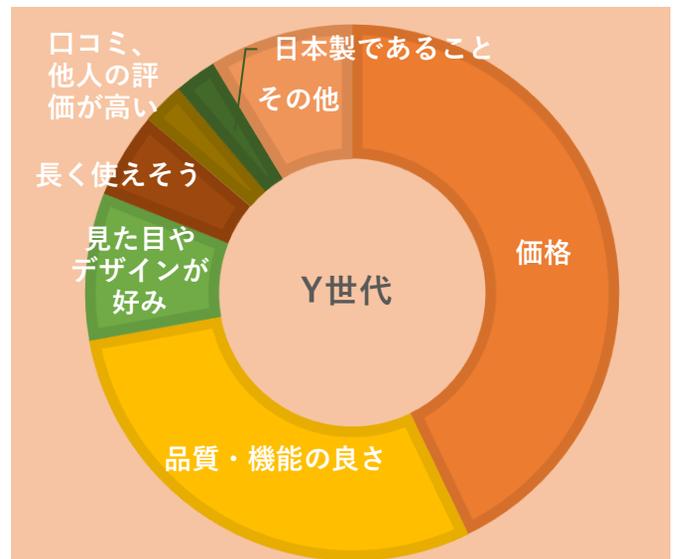
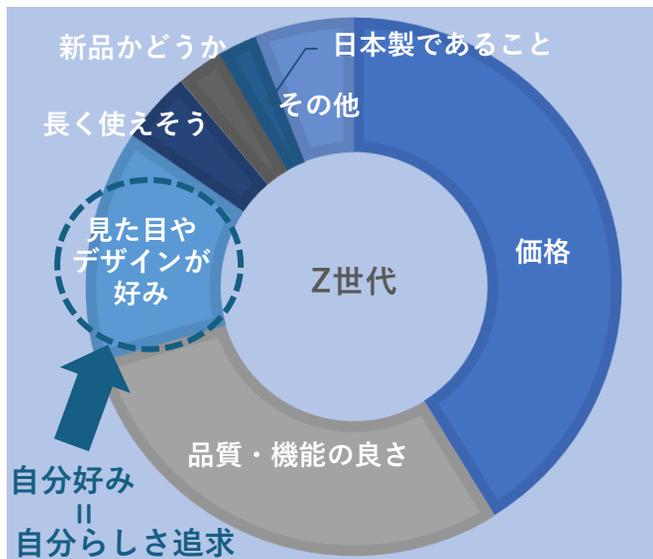
- ・調査概要
- ・調査結果サマリー
- ①《消費の現状》 ②《消費への姿勢》 ③《購入場所》 ④《サービス受容性》 ⑤《消費意欲》 ⑥《課題と提言》
- ・アンケート調査結果（設問8）

## ■設問例 「1カ月のうち、最もお金をかけているものは何ですか。(SA)」



- ・Z世代では、『預貯金』が最も高く、つづいて『趣味』、『交際費』、『推しメン』、『ファッション』の順となっている。
- ・生まれてから好景気を経験したことが無く、貯蓄を中心とした現実的な支出となっている可能性が高い。
- また、一方で自分が好きなことへ消費する人も多くみられる。

## ■設問例 「商品を購入する際に、最も重視していることは何ですか。(SA)」



・価格と品質・機能の良さを最も重視する。その選択肢の中で、見た目やデザインが自分好きなモノを選択し、自分らしさも追及。

・有名ブランドや日本製のモノ、サステナブル消費を重視している比率は低い。

設問の最後には、「もし大金を手にしたら、何に最も使いたいか」について質問したところ、大金を手にする事で、消費意欲の変化や世代男女別の比較において、共通点などを発見することができた。

詳しくは、本レポートに記載。

## ■本レポートの購読について

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

ご希望の場合は、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する経済レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員になっていただきますと、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

お問い合わせは、[こちらをクリック](#)



資料請求

お問い合わせ

SVP会員の方は、[こちらをクリック](#)



会員サイト

## ■次回のテーマ

4月のテーマは、「Z世代のサステナブル・エシカル消費について」予定しております。

**SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定**

### [会社概要]

社名： 株式会社SVPジャパン  
代表取締役： 橋本 雅  
所在地： 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日： 1974年7月1日  
事業内容： 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL： <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン デジタルマーケティング部  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。